

## 2 選挙の概要

平成28年7月25日の任期満了に伴う第24回参議院議員通常選挙（以下「通常選挙」という。）は6月22日に公示され、7月10日に投票が行われた。なお、通常選挙の期間は17日前に公示されるのが通例であるが、17日前にあたる6月23日が「沖縄の慰霊の日」であったことから1日前倒しされた。

今回の通常選挙は、公職選挙法等の改正により選挙権年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられた初めての国政選挙であり、新有権者となる18歳・19歳の投票動向が非常に注目される選挙となった。

また、選挙人名簿登録制度の見直しや、共通投票所制度の創設、期日前投票所の投票時間の弾力的な設定、投票所に入ることのできる子どもの範囲が「幼児」から「18歳未満」に拡大される等、有権者の投票環境の向上を図るための公職選挙法の改正が初めて適用された。

### 大阪市選挙管理委員会トピックス

- 本市における投票率は、参議院選挙区選出議員選挙では51.89%となり、前回の52.83%と比較すると0.94ポイント下がる結果となった。
- 初めての投票となった18歳・19歳の投票率は47.15%と全市平均には届かなかったものの、20歳代(30.18%)や30歳代(40.01%)の投票率と比べ高い水準となった。
- 公職選挙法の改正を受け、有権者の利便を図るため、期日前投票所の投票時間について、全日程のうち投票日前6日(月曜日)から投票日前日(土曜日)までの6日間、投票の開始時刻を30分繰り上げ、終了時刻を午後9時まで1時間繰り下げた。
- 選挙権が満18歳以上に引き下げられたことを受け、若年層への啓発と投票環境の向上を図ることを目的に、7月5日(火)及び6日(水)の午前10時から午後5時まで、住吉区内の大阪市立大学構内に臨時の期日前投票所を設置した。
- 投票所に入ることのできる子どもの範囲が「幼児」から「18歳未満」に拡大されたことを受け、投票所での混乱やトラブルを避けるため、同伴者証の導入や投票事務従事者への制度周知に努めた。